



2024年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2024年11月14日

上場会社名 Appier Group株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4180 URL https://www.appier.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 游 直翰
 問合せ先責任者 (役職名) Senior Vice President of Finance (氏名) 橘 浩二 (TEL) 03(6435)6617
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト 向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		EBITDA※		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する 四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期 第3四半期	24,574	30.7	3,339	86.3	1,204	232.6	1,300	203.0	1,240	223.8	1,240	223.8	1,402	△63.0
2023年12月期 第3四半期	18,802	37.6	1,792	115.5	362	—	429	—	383	—	383	—	3,792	△28.4

※EBITDA=営業利益+減価償却費及び無形資産償却費+営業費用に含まれる税金費用

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	12.15	12.02
2023年12月期第3四半期	3.77	3.73

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	39,934	30,564	30,564	76.5
2023年12月期	37,852	29,091	29,091	76.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		EBITDA※		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,495	30.6	4,898	72.8	2,090	161.0	2,003	88.5	1,899	89.6	1,899	89.6	18.64

※EBITDA=営業利益+減価償却費及び無形資産償却費+営業費用に含まれる税金費用

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年12月期3Q	102,205,271株	2023年12月期	101,882,216株
2024年12月期3Q	86,857株	2023年12月期	257株
2024年12月期3Q	102,019,907株	2023年12月期3Q	101,628,240株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提になる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
要約四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
第3四半期連結会計期間	7
要約四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
第3四半期連結会計期間	9
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
(売上収益)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

「ソフトウェアをよりスマートに、AIでROIを向上させる」が当社グループのミッションです。

当第3四半期連結累計期間の売上収益は24,574百万円（前年同期比30.7%増）となりました。これは、アップセル・クロスセルによる既存顧客からの売上収益の拡大、地域及び顧客業種の拡大による新規顧客からの売上収益の拡大によるものであります。また、2024年9月におけるARR（注1）は33,437百万円となり、2023年9月の25,663百万円から30.3%拡大しました。

当第3四半期連結累計期間の売上総利益は12,864百万円（前年同期比33.0%増）となり、売上総利益率は52.3%（前年同期比0.9%ポイント上昇）となりました。

事業規模の拡大及び為替影響により、営業費用（販売及びマーケティング費用、研究開発費、一般管理費）の金額は増加していますが、対売上収益比率は前年同期の50.4%から48.6%へと、1.8%ポイント低下しました。研究開発費はプロダクト差別化のための研究開発活動の強化及び為替影響により、対売上収益比率が前年同期比で2.1%ポイント上昇しました。一方、販売及びマーケティング費用と一般管理費の対売上収益比率は、生産性の改善により4.0%ポイント低下しました。その結果、EBITDA（注3）は3,339百万円（前年同期比1,547百万円増）、営業利益は1,204百万円（前年同期比842百万円増）となりました。また、税引前四半期利益は1,300百万円（前年同期比871百万円増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1,240百万円（前年同期比857百万円増）となりました。

- (注) 1. Annual Recurring Revenueの略。年間経常収益。利用量ベースの価格体系で提供するソリューションについては、関連する期間における1か月平均のリカーリング売上収益（注2）を12倍し、サブスクリプション方式で提供するソリューションについては、関連する期間の最終月のリカーリング売上収益を12倍することで年換算して得られた金額です。2024年9月のARRは、利用量ベースの価格体系で提供するソリューションについては2024年4月から2024年9月のリカーリング売上収益の1か月平均を12倍し、サブスクリプション方式で提供するソリューションについては2024年9月のリカーリング売上収益を12倍して算出しております。
2. リカーリング顧客(利用量ベースの価格体系で提供するソリューションについては、①当社グループのソリューションを4四半期以上連続で使用している顧客企業及び②直近1年以内の新規顧客企業で当社グループのソリューションを3か月以上連続で使用している顧客企業を、サブスクリプション方式で提供するソリューションについては、当社グループと1年以上の契約を締結している顧客企業をいいます。)からの売上収益
3. EBITDA=営業利益+減価償却費及び無形資産償却費+営業費用に含まれる税金費用

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は39,934百万円であり、前連結会計年度末に比べて2,082百万円増加しております。流動資産は前連結会計年度末に比べて824百万円増加しており、主な増加要因は売上収益の増加による営業債権及び契約資産の増加（前連結会計年度末比1,858百万円増）であり、主な減少要因は無形資産の取得による支出等による現金及び現金同等物の減少（同934百万円減）、定期預金の払戻による減少（同632百万円減）であります。非流動資産は前連結会計年度末に比べて1,258百万円増加しており、主な増加要因は資産化の要件を満たす開発費用の資産計上によるのれん及び無形資産の増加（同1,596百万円増）であり、主な減少要因は使用権資産の償却による減少（同374百万円減）であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は9,370百万円であり、前連結会計年度末に比べて609百万円増加しております。流動負債は前連結会計年度末に比べて1,018百万円増加しており、主な増加要因は売上原価の増加による営業債務の増加（前連結会計年度末比567百万円増）、金融機関からの借入金の増加（同400百万円増）であります。非流動負債は前連結会計年度末に比べて409百万円減少しており、主な減少要因はリース負債の返済による減少（同398百万円減）であります。

(資本)

当第3四半期連結会計期間末の資本合計は30,564百万円であり、前連結会計年度末に比べて1,473百万円増加しております。主な増加要因は四半期利益の計上による利益剰余金の増加（前連結会計年度末比1,240百万円増）であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、5,200百万円（前連結会計年度末比934百万円減）となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,607百万円となり、前第3四半期連結累計期間と比べ843百万円収入が増加しました。主な収入の増加要因は、非資金損益調整後の税引前利益の増加（前年同期比1,523百万円増）であり、主な減少要因は運転資本の増加（同474百万円増）であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2,438百万円となり、前第3四半期連結累計期間と比べ3,817百万円支出が増加しました。主な支出の増加要因は、定期預金の純減による収入の減少（前年同期比3,904百万円減）、無形資産の取得による支出の増加（同777百万円増）であり、主な支出の減少要因は純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の取得による支出の減少（同822百万円減）であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は259百万円となり、前第3四半期連結累計期間と比べ1,684百万円支出が減少しました。主な支出の減少要因は、短期借入による収入の増加（前年同期比1,800百万円増）であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2024年2月14日に公表した内容から変更はありません。

配当予想につきましては、2024年11月14日に開示した「配当予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、2024年12月期の期末配当予想を「未定」から「2.00円」に修正いたしました。

当社は株主の皆様への利益還元について、重要な経営課題であると認識しており、経営成績、財政状態及びコア・フリー・キャッシュ・フロー（注）の状況を勘案しつつ、配当や自社株買い等の株主還元を検討して参りました。2024年8月14日には上場後初めての自己株式取得を決定しております。

当第3四半期連結累計期間においては、売上収益及び利益ともに通期連結業績予想に対して順調に推移しており、2024年12月期のコア・フリー・キャッシュ・フローも前期比で改善する見込みです。今般、将来の成長に向けた研究開発等の事業成長のための投資及びM&Aを含めた資金需要、及び内部留保充実の必要性等を総合的に勘案した結果、上場後初めての配当支払として、2024年12月期の期末配当予想を2.00円とすることを決定いたしました。

（注）コア・フリー・キャッシュ・フロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー + 無形資産の取得による支出

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	6,134	5,200
定期預金	8,004	7,372
営業債権	3,726	4,604
契約資産	1,629	2,609
その他の債権	331	348
その他の流動資産	165	407
その他の金融資産	4,940	5,213
流動資産合計	24,929	25,753
非流動資産		
有形固定資産	228	216
使用権資産	2,686	2,312
のれん及び無形資産	9,347	10,943
繰延税金資産	190	173
その他の金融資産	472	391
その他の非流動資産	—	146
非流動資産合計	12,923	14,181
資産合計	37,852	39,934
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	600	1,000
契約負債	174	201
営業債務	2,436	3,003
その他の債務	2,546	2,507
未払法人所得税	45	62
リース負債	655	706
その他の流動負債	91	86
流動負債合計	6,547	7,565
非流動負債		
引当金	68	64
繰延税金負債	54	47
リース負債	2,092	1,694
非流動負債合計	2,214	1,805
負債合計	8,761	9,370
資本		
資本金	7,555	7,607
資本剰余金	23,880	24,044
自己株式	△0	△145
利益剰余金	△8,471	△7,231
その他の資本の構成要素	6,127	6,289
親会社の所有者に帰属する持分	29,091	30,564
資本合計	29,091	30,564
負債及び資本合計	37,852	39,934

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上収益	18,802	24,574
売上原価	△9,131	△11,710
売上総利益	9,671	12,864
販売及びマーケティング費用	△5,892	△7,153
研究開発費	△2,229	△3,437
一般管理費	△1,364	△1,353
その他の収益	183	304
その他の費用	△7	△21
営業利益	362	1,204
金融収益	405	356
金融費用	△338	△260
税引前四半期利益	429	1,300
法人所得税費用	△46	△60
四半期利益	383	1,240
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	383	1,240
基本的1株当たり四半期利益(円)	3.77	12.15
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	3.73	12.02

第3四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
売上収益	7,080	9,050
売上原価	△3,357	△4,178
売上総利益	3,723	4,872
販売及びマーケティング費用	△2,161	△2,515
研究開発費	△831	△1,195
一般管理費	△484	△448
その他の収益	73	89
その他の費用	△6	△15
営業利益	314	788
金融収益	148	109
金融費用	△143	△61
税引前四半期利益	319	836
法人所得税費用	△18	△22
四半期利益	301	814
四半期利益の帰属 親会社の所有者	301	814
基本的1株当たり四半期利益(円)	2.96	7.97
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	2.94	7.88

要約四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期利益	383	1,240
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定するものとして指定した資本性金 融商品の公正価値の純変動額	46	△124
純損益に振り替えられることのない項目 合計	46	△124
純損益に振り替えられる可能性のある項 目		
在外営業活動体の外貨換算差額	3,363	286
純損益に振り替えられる可能性のある項 目合計	3,363	286
その他の包括利益合計	3,409	162
四半期包括利益	3,792	1,402
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	3,792	1,402

第3四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
四半期利益	301	814
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定するものとして指定した資本性金 融商品の公正価値の純変動額	△31	△89
純損益に振り替えられることのない項目 合計	△31	△89
純損益に振り替えられる可能性のある項 目		
在外営業活動体の外貨換算差額	981	△3,612
純損益に振り替えられる可能性のある項 目合計	981	△3,612
その他の包括利益合計	950	△3,701
四半期包括利益	1,251	△2,887
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,251	△2,887

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素			資本合計
					在外営業活動 体の換算差額	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する金融資 産	合計	
2023年1月1日残高	7,535	23,712	△0	△9,473	4,443	△16	4,427	26,201
四半期利益	—	—	—	383	—	—	—	383
その他の包括利益	—	—	—	—	3,363	46	3,409	3,409
四半期包括利益	—	—	—	383	3,363	46	3,409	3,792
株式報酬取引	—	99	—	—	—	—	—	99
新株予約権の行使	11	11	—	—	—	—	—	22
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—	—	△0
所有者との取引額等 合計	11	110	△0	—	—	—	—	121
2023年9月30日残高	7,546	23,822	△0	△9,090	7,806	30	7,836	30,114

当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素			資本合計
					在外営業活動 体の換算差額	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する金融資 産	合計	
2024年1月1日残高	7,555	23,880	△0	△8,471	6,151	△24	6,127	29,091
四半期利益	—	—	—	1,240	—	—	—	1,240
その他の包括利益	—	—	—	—	286	△124	162	162
四半期包括利益	—	—	—	1,240	286	△124	162	1,402
株式報酬取引	—	112	—	—	—	—	—	112
新株予約権の行使	52	52	—	—	—	—	—	104
自己株式の取得	—	—	△145	—	—	—	—	△145
所有者との取引額等 合計	52	164	△145	—	—	—	—	71
2024年9月30日残高	7,607	24,044	△145	△7,231	6,437	△148	6,289	30,564

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	429	1,300
減価償却費及び無形資産償却費	1,426	2,131
受取利息	△405	△356
支払利息	80	57
予想信用損失(△は戻入)	84	16
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の 評価損益(△は益)	△178	△210
条件付対価取崩益	—	△73
株式報酬費用	121	216
その他	0	△1
運転資本の増減		
営業債権	△783	△968
契約資産	△620	△992
その他の債権	△44	138
その他の流動資産	△220	△226
その他の非流動資産	—	△145
契約負債	△55	27
営業債務	238	587
その他の債務	413	35
その他の流動負債	△7	△8
小計	479	1,528
利息の受取額	428	201
利息の支払額	△80	△61
法人所得税の支払額	△63	△61
営業活動によるキャッシュ・フロー	764	1,607
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△118	△62
無形資産の取得による支出	△2,307	△3,084
子会社の取得による支出	△42	—
定期預金の払戻による収入	31,561	6,468
定期預金の預入による支出	△26,895	△5,706
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の 取得による支出	△888	△66
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の 売却による収入	72	—
敷金及び保証金の差入による支出	△6	△6
敷金及び保証金の回収による収入	2	18
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,379	△2,438
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入による収入	—	1,800
短期借入金の返済による支出	△1,499	△1,400
リース負債の返済による支出	△444	△514
株式の発行による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△0	△145
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,943	△259
現金及び現金同等物の為替変動による影響	637	156
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	837	△934
現金及び現金同等物の期首残高	3,804	6,134
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,641	5,200

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、AISaaS事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(売上収益)

顧客との契約から認識した収益の分解は、以下のとおりであります。当社グループは、事業を展開する上で販売状況を地域ごとに管理し、売上収益を管理区分単位である地域別に分解しております。

(第3四半期連結累計期間)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
	百万円	百万円
北東アジア地域	12,177	16,381
米国及び欧州地域	3,085	4,565
グレーターチャイナ地域	3,012	3,271
東南アジア地域	528	357
	18,802	24,574

(第3四半期連結会計期間)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
	百万円	百万円
北東アジア地域	4,439	6,090
米国及び欧州地域	1,413	1,818
グレーターチャイナ地域	1,148	1,038
東南アジア地域	80	104
	7,080	9,050

地域は以下のように分類しております。

北東アジア地域：日本及び韓国

米国及び欧州地域：米国、英国及びフランスを含む欧州

グレーターチャイナ地域：中国、台湾及び香港

東南アジア地域：その他のアジア太平洋地域（シンガポール、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム、インド、インドネシア及びオーストラリア）

(重要な後発事象)

該当事項はありません。